



「緑の少年団交流集会」 7月31日～8月1日

～ふれあいの家・京築にて～

県内各地区の緑の少年団85名を始め、総勢130名余の参加者でふれあいの家・京築のホールは満杯状態、天候も下り坂でのスタートとなった。1日目は各緑の少年団の活動報告に始まり、3時から夕飯のカレー作りと飯盒炊爨・竹飯作り及び木工クラフト（ログハウス）の3班に分かれて同時スタート。じゃが芋の皮むきから慣れない手つきの包丁さばき、竹飯用の竹伐りにノコを使つての悪戦苦闘。ログハウスは初っぱなの基礎づくりに手こずり2人～3人で協力し合つてのすべり出しとなったが、それぞれのパートで初めての挑戦に子供たちの眼差しは爛々と輝き、緊張感があちこちから伝わってきた。

おいしいカレーの香りが食欲をそそり、飯盒・竹飯も上出来でタケの香りが漂い、おかわりが相次いだ。メインイベントのキャンプファイアーに移る間際、下り坂の予報が的中、雨が落ち始めた。が、それを押しての強行突破。すると天が味方し、雨はあがって無事1日目は終了。2日目は時折雨の中での蒸し暑い自然観察会となったが、ホールでの「森林の働き」や「種の戦略」の座学にも真剣な眼差し。さすが、日頃自然に触れ合っているだけあって食いつきは良好、種飛ばしゲームに興じて植物への関心度を更に深め、有益な2日間を過ごした。

スタッフ：石橋、佐藤、陣内、千種、野見山、宮本、溝口、諸石（報告：諸石）